

令和5年9月11日

小学校6年生児童の保護者の皆様

苫小牧市立錦岡小学校長 後藤 敏彦

令和5年度全国学力・学習状況調査の調査結果について

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、本年4月18日（火）に実施しました全国学力・学習状況調査の結果が本年7月に北海道教育委員会から公表され、苫小牧市でも8月に公表されました。

本調査は、学習指導要領の定着状況の把握、すなわち児童が学習内容をどの程度理解しているかを把握することとともに、調査結果の分析から児童への指導の充実や学習状況の改善等を図ることを目的としています。苫小牧市は、市全体の平均正答数及び平均正答率を公表することとしておりますが、各学校の平均正答数及び平均正答率の公表については、本調査の目的と整合が図られないこと、学校の序列化を回避することが困難であることなどの理由から、行っておりません。

これを踏まえて、本校の結果と考察をまとめましたので、次のとおりお知らせします。

記

1 調査の概要

(1) 実施日

令和5年4月18日（火）

(2) 調査対象

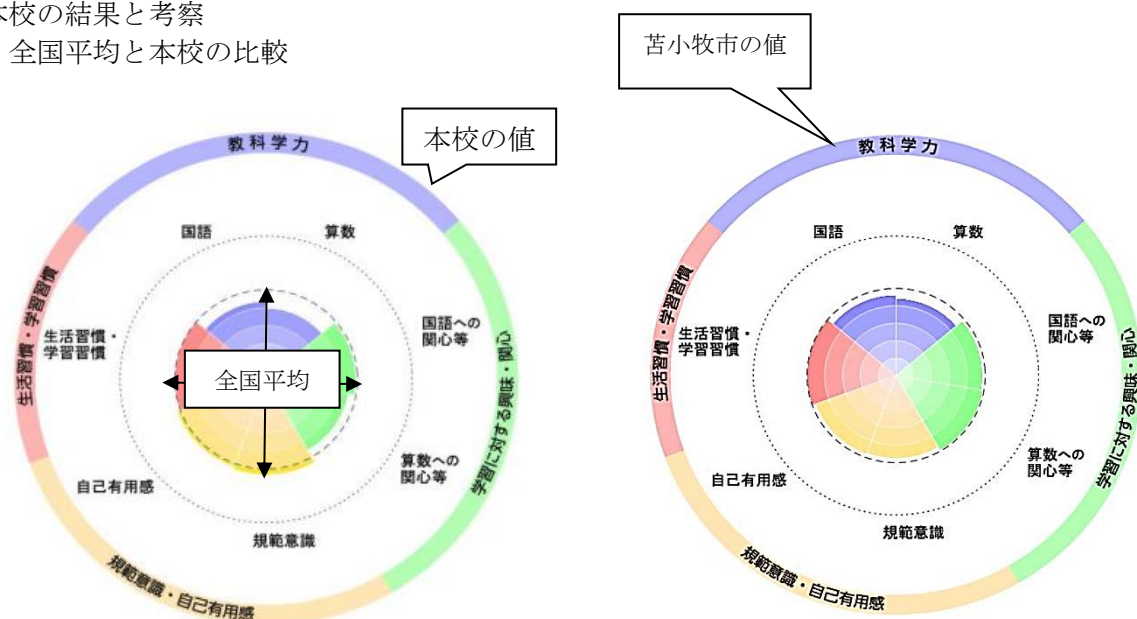
小学校第6学年（市内全小学校で実施）

(3) 調査内容等

- ① 教科に関する調査は、国語、算数の2教科が出題されました。
- ② 生活習慣、学習環境等に関する児童質問紙調査が実施されました。
- ③ 学校に対して、指導方法や教育条件の整備等に関する質問紙調査が実施されました。

2 本校の結果と考察

(1) 全国平均と本校の比較



(2) 国語科

- ・国語においては、平均正答率が全国平均を下回っている。
- ・国語の正答数の分布では、全国平均に比べ、中位層が厚く、上位層・下位層が薄い傾向が見られる。
- ・「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる」設問において、平均正答率が全国平均を上回っている。
- ・「日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる」設問において、平均正答率や無回答率が全国平均を下回っている。
- ・「書くこと」では、記述式問題の平均正答率が全国平均を下回っている。

(3) 算数科

- ・算数においては、平均正答率が全国平均を下回っている。
- ・算数の正答数の分布では、全国平均に比べ、中位層が厚く、上位層・下位層が薄い傾向が見られる。
- ・「() を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができるかどうかをみる」設問において、平均正答率が全国平均を上回っている。
- ・「変化と関係」では、「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる」設問において、平均正答率が全国平均を下回っている。
- ・「数と計算」では、「示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できるかどうかをみる」記述の設問において、平均正答率が全国平均を下回っている。

(4) 児童質問紙

学校生活

- ・「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う」「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」「国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている」「英語の勉強は好き」と回答した児童の割合は、全国平均を大きく上回っている。
- ・「学校に行くのは楽しいと思う」「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」「国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいる」「算数の勉強は好き」と回答した児童の割合は、全国平均を下回っている。

家庭生活

- ・「家で自分で計画を立てて勉強している」「学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっている」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答した児童の割合は、全国平均を上回っている。
- ・「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童の割合は、全国平均を下回っている。

3 学校の今後の取組について

(1) 基礎時・基本的な学力の定着を図る取組の推進

① 補充的な学習、学び直しの実施

- ・朝学習の時間、宿題・家庭学習、長期休業中の学習（課題プリント・ドリル）などの取組の充実、eライブラリを活用した学び直しの実施

② 学習規律の徹底、基本的な学習態度の育成

- ・学習準備、学用品の約束、ノート指導などの取組の充実

③ 個に応じた指導の充実

- ・算数科の少人数指導・TT指導（3～6年生）、通級指導教室、支援員の活用など複数教員による指導

(2) 家庭と学校の連携した取組の推進（学習・生活）

① 学習習慣の確立

- ・学習準備に関わる取組（忘れ物0、学習効果の高まる学用品・筆記用具の準備等）
- ・宿題・家庭学習の取組（家庭学習チャレンジ週間による啓発、「錦岡小学習ガイド」、長期休業中の学習等）

② 生活習慣の確立

- ・生活リズム習慣の取組（生活リズムチェックシートの活用）
- ・とまこまい「学びの3か条」の取組»
 - ◎ 「ゲーム・スマホ8時でセーブ」
 - ◎ 「3つの『習』（基礎学習・予習・復習）でレベルアップ」
 - ◎ 「学年×10+10分でステージクリア」